三潴保育園　園だより

August　2022

　真っ青な夏空の下、園庭の桜の木では、セミの鳴き声が鳴り響いています。子ども達は、キラキラした目でセミを探し、「先生、捕ってー！」「捕まえた!!」とセミに負けないくらい元気いっぱい。捕まえたセミは、「一週間しか生きられないから」と、観察した後は逃がし、また新たな出会いへ。生きているセミが苦手な子は、地面に横たわっているセミを観察する様子もこの時期特有かもしれません。それだけではあきたらず、動かないセミを部屋に持ち帰り拡大鏡で裏側（腹部）を観察し、足の数やどこから足が生えているのかとまさに虫博士のような子ども達。色々な生き物の不思議を発見し、考察したり図鑑で調べたりと様々なことを吸収していっています。ですから、虫が苦手な先生達も、この時期だけは『出会いを大切に』と奮闘中です。

　さて、先月は七夕保育参観にご参加いただきありがとうございました。午前中は、三役のお父様・お母様にお手伝いいただき、それぞれのチームで特別な時間を過ごしました。夕方からは、クラスで七夕飾り制作をしたりお店屋さんをしたりと色々な催し物に参加いただきました。うめ組・すみれ組は自分たちの「美味しい」をぜひお家の人にも味わってもらいたい、ゆり組は自分たちで用意した遊びコーナーで楽しい時間を過ごしてもらいたいという想いにあふれました。また、その様子を温かなまなざしで見守り、一緒に盛り上げてくれるご家族のにこやかな表情も印象的でした。こんな笑顔はいつぶりだろうかと思うほど、楽しいひと時となりました。子ども達は、保育園でしていることをご家族にも経験してもらえたことが、一番うれしい経験となったのではないかと思います。

　さあ、夏本番!!連日、暑い日が続き、食欲が落ちたり疲れたりし体力が落ちやすい時期です。園でも、水分・塩分補給、適度の休憩をとりながら暑い夏を元気に乗り切りたいと思いますので、ご家庭でも早めの睡眠・休息をよろしくお願いします。

名頭園　弥生

クラス目標　～1か月大切にしたいこと～

たんぽぽ組	・保育者とスキンシップをとりながら、のびのびと過ごす。 ・夏ならではの遊びを楽しむ。
もも組	・水や砂、泥などに触れ、夏ならではのダイナミックな遊びを楽しむ。 ・保育者や友達に関心を持ち、言葉や動きを真似して遊ぶ。
ばら組	・夏の遊びを楽しみながら、友達と関わりを持つ。 ・保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でやろうとする気持ちを育てる。
うめ組	・夏の過ごし方について知り、暑さに負けないように過ごす。 ・夏の自然に興味・関心を持ち、遊びに取り入れたりしながら親しむ。
すみれ組	・夏の自然に興味・関心を持ち、自分たちで調べることを楽しむ。 ・保育者や友達の意見に共感したり喜びを共有したりする。
ゆり組	・夏ならではの遊びを体全体で楽しみ、満足感を味わう。 ・自分の思いを伝えたり相手の考えを受け入れたりしながら、遊びや活動を進める。

８月の行事予定

9日（火）　避難訓練
12日（金）　お弁当の日
22日（月）～26日（金）
身体測定

７月・８月合同お誕生会
日程未定：状況見て開催します

新メンバーが加わります

給食チームに新加入!!

高田　竜弥　先生です

保育園での給食づくりは
初めてですが、
頑張ります。
よろしくお願いします。

寒天×ひかりアート　with 伊藤・蔵森

内容：①前日に子ども達と作ったカラフルな寒天を作る
②できた寒天をクッキー型やストローで型抜きしたり、
ペットボトルに入れた寒天を光に照らし見え方を観察

子ども達の様子：
まず私たちが驚いたのは、寒天を使った感触遊びに対する子ども達の集中力の高さ。直ぐに飽きてしまう子がいるかなぁ…寒天を踏んで滑ったりしないかなぁと心配する気持ちがありましたが、
その場から動き回ることもなく、とにかく真剣な様子で実験していました。始めは恐る恐る手を伸ばす子もいましたが、いざ触ってみるとツルツルする感触や、ぎゅっと潰して形が変化していく様子を何度もじっくりと観察していました。また、ペットボトルに入れた子は、底からのぞき込んだりサングラスのように目の前に持ったりした時に、カラフルな寒天が光によってキラキラと光出す事に気付き、『きれー！！』と声をあげていました。寒天と光の融合により出来た輝きに子ども達も私たちも魅了されました。

クリスタルなクッキング　with　城後・佐藤・山下・永野

内容：クッキング
①カラフルな寒天を型抜きし、さらに透明ゼリーをトッピング
②出来上がった後は、みんなでおいしくいただきました！

子ども達の様子：
まずは、色んな形に型抜きができるのが楽しかったようで、とにかく夢中になって型抜きしていました。赤・青・緑・紫の寒天が選べるなか、バランスよく容器に入れる子、好きな色だけ入れる子がいて自分の『好き』を表現できているなぁと感じました。

それぞれ一人ひとりが、まさにキラキラしたクリスタルのようなデザートを作り上げ、ちょっともったいなさそうにしながらも、おいしく食べてくれました。
とっても簡単なので、お家でもぜひ作ってみてください!!
夏の涼しげな一品が出来あがるはずです！

ミッション　インポッシブル　with　大瀬・遥

内容：（縦割り３チーム）
①園内に隠された５つの指令文に書かれたミッションを　クリアし、笹飾りのアイテムをゲットする
②力を合わせて笹飾りを見つけ、最後は自分だけの　七夕飾りを作る

子ども達の様子：
最初はゆり組の子ども達も自分の事で精一杯ですみれ組、うめ組のお友達が置いてきぼりになる事もあり大丈夫かな？？と思っていましたが、活動の途中から「一緒に行こう」と声をかけたり、外に出る時には靴を上手く履けないうめ組さんのお手伝いが自然と出来ていました。

絵の具を氷らせた『魔法の氷』で塗り絵をした時はいつもとは違う塗り絵に興味を持ち、集中して楽しんでいました。
ゆり組の子ども達は、色が混ざり合って変化していく事にも気づき、「茶色がない！」と言っていた子が色んな色が混ざりあった結果茶色になった事で、「先生！見て見て～！カブトムシの色になったよ。」と興奮して教えてくれる姿もありました。

後日談として…
宝探しが気に入ったようで、土曜日には折り紙で宝を作って宝探しをしたりと子ども達が遊びをアレンジしながらお祭りが終わった後も楽しんでいます。

アート×バブル　with 名頭園・杉野

内容：①せっけんとスポンジを使ってみんなで泡作り
②魔法の粉（食用色素）を入れてカラフルな泡に
③透明容器に入れてごっこ遊び
④カラフルな泡で画用紙やキャンバスに描き、
アート作品作り

子ども達の様子：
泡作りでは、「スポンジをぎゅっぎゅって握ったらどうなるかなぁ」とみんなで観察。「あわあわ　いっぱいできた」と目をキラキラさせてました。せっけんをつけてスポンジを渡すと、むしろ私達大人より上手なくらい、両手を使ってとってもクリーミーな泡を作ってました。
また、初めての感触にドキドキしている子もいましたが、出来上がった泡を小さなスポンジやスプーンですくったりしながらどんどん慣れ、最後にはみんなと一緒に楽しんで遊んでくれて私達もとっても嬉しかったです。
　カラフルな泡を透明な容器に入れては、「アイスはいかがですか？」「おいしいジュースです」などごっこ遊びがスタート！本当においしそうで思わず口に入れちゃうなんて場面もありましたが、すぐにシャワーで流して再び遊びへ。「泡ってこんな味がするんだ」ととってもびっくりしてました。
　最後にカラフルな泡を使って大きな画用紙や布製のキャンバスにお絵かき。色が混ざり合っていく様子やしみこんでいく様子を観察し、何度も再考し、上から描いていました。

キャンバスは現在、温かい光に演出され、本物のアート作品のようにカフェに飾ってお客様をもてなしております。
次回は、ばら組みんなで思いっきり楽しめたらいいなと思います。
今回経験した子は、初めてするお友達にやり方を教えたり、さらに遊びが発展するのではないかと思っています。

ダイナミック　with　津川・只隈

内容：ボディーペイント　in　砂場
①洗濯のりを入れて
どろどろの絵の具作り
②大きな段ボールや体に描く

子ども達の様子：
　始めは、どろどろの感触や体にいっぱい付くしと苦手意識がある子もいましたが、作る途中の絵の具が自分の足元に偶然流れてきて「ひんやりして気持ちいい」を実感。それをきっかけに触れるようになった子もいました。
また、友達同士で絵の具をつけ合ったり自分で体につけてみたり、お手伝いに来ていたお父さんが顔につけている様子をみたりし、だんだんダイナミックに激しくなっていってました。色と色が混ざり合い変化していく様子に興味を持ち、色々な色の組み合わせを実験してみたりと、一つの遊びから様々なかたちへと遊びを広げて楽しむ姿が見られました。終わる頃には、全身絵の具まみれで、体中色んな色でペイントされていました。これこそまさにボディーペイントです!!
活動し始めた時は、緊張気味で会話は聞こえてこなかったのですが、絵の具をつけ合ったりなどだんだんダイナミックになっていくと、自然と会話が生まれ、最後にはケラケラと笑い合うほど打ち解ける仲に。大人も子どもも全員が笑顔になれる楽しい貴重な時間になりました。

つめたいアート　with 折橋・河村

内容：①水性ペンでお絵描きをする
②描いた絵の上を透明の氷でなぞる
③絵の具を溶かして凍らせたカラフル氷で
氷アートに挑戦！

　初めて氷で遊ぶということもあり、触っていいのかなぁと戸惑う子もいましたが、氷の冷たさと色のついたカラフルな氷に触れ、汚れないように落とさないようにと大事に触れていました。ですが、どの色が混ぜたらどんな風になるのか等、実験が始まり、どんどん色が混ぜるにつれダイナミックに。カラフル氷を電車に見立てて並べてみたり宝石みたいと透かせてみたり…溶けていく氷をペットボトルやカップに入れてジュース屋さんに変身したりと、異年齢のお友達と楽しめていた様子に私達もほんわかしました。氷の感触や色、音、見立て遊びを楽しみ、氷の溶ける様子・色の変化に気づき、子どもたち自身がさらに遊びを展開して楽しめたことが何より良かったです。まだまだ夏は続くので、氷の形や氷の色の種類を増やして遊びたいと思います。

サイエンス　with 酒村・中園

内容：①水の水圧を応用した浮き沈み実験
②一瞬にして水が氷に変わる実験
③紫外線にあたると色が変わるスライム作り
④ぐるぐる回転の不思議　　⑤チョコアート

子ども達の様子：
①ペットボトルに入れた疑似魚がペットボトルの中で浮いたり沈んだりすると、「すごーい！これなんで？」と様子を眺めながら繰り返し実験してました。

②－４℃まで冷やした水に氷をひとかけらいれると、一瞬にしてビンの中の水が氷に変身。なんですぐに凍るのか「もう1回みたい！」とビックリしていた。

③太陽の光を浴びると色が変わるスライムは初めてだったようで、先生やお友達に「すごいけん、これ！！」と嬉しそうに話してました。
今回使った絵の具は、元の色が白色だったので、作っている最中は「色ついてない」「カルピスみたい」と言ってましたが、スライムが出来上がって、テラスに移動すると、みるみるうちに色に変化が。「ピンクになった!」「紫色になった!」と不思議すぎて大はしゃぎの様子でした。私達の目には見えない紫外線ですが、こう実験をしてみると、室内にはなかった紫外線が戸外にはあり、確かに「色を変えた」という結論を教えてくれました。子ども達にとっては「紫外線って何だろう？」だったかもしれませんが、色を変える光の不思議に興味をもってくれたかもしれません。

④半円だけ色付けをした回転ごまを回すと、「半分しか色がないのに、全部に色があるみたい」と色の変化を観察している子がいました。

⑤チョコアートは、お皿に乗せたＢ＆Ｂとチョコマーブルをお湯で溶かして実験。お湯をかけるとじんわり色が変わり始め、上からじーっと眺めていた子ども達はチョコが溶けていく様子を見て、「チョコが白くなった」など口々に言っていました。また、甘い香りに「これ食べれる？」とお腹が空いてきた子もいたようです。
　それぞれの実験で色々なことに気づいたり不思議に思ったりと新しい発見も沢山あったようです。これからも様々な事象に興味・関心を深めていってほしいと思います。

夏祭り　with　パルキッズ・理沙・佐倉

内容：①スーパーボール・ヨーヨー作り
②看板作り
③ビニールプールに水を入れるなど準備

子ども達の様子：
　スーパーボウル作りは、
赤、青、白、金、銀など
様々な色のスーパーボールの素を、
お湯で柔らかくして、手で丸めたら完成。
最初は、お姉さんの説明通り、色の組み合わせをじっくり考えて、2種類の素を混ぜて作っている子もいました。そのうち気になる色を混ぜ合わせ大きなスーパーボールを作る子もいました。
いびつな形、不思議なグラデーションになっているスーパーボールができて「隕石みたい！」「宇宙の石!!」ととっても大事そうにしていました。
言われた通りではそれ以上の発見は生まれないですが、子どものやりたい気持ちを汲む事で思わぬものができたり驚きや発見などに気付けたり、子ども達と同じ気持ちを共有できて嬉しかったです。

　また、ゆり組は遊びの中でも、ぱるキッズさんの動きをよくみており、手伝いをしたり「自分でやってみたい！」としてみようとする姿がありました。
「これはまだ難しいから」と子どもの限界を大人が線引きするのではなく安全を担保した上で、やってみたい気持ちに寄り添う事が何より大事だと思いました。

　うめ組の子は、最初はビニールプールの周りでヨーヨー釣りやスーパーボールすくいを楽しんでいましたが、次第に水の掛け合いへ。最終的には服を着たままプール内に入ってチャプチャプ水遊びを思いっきり楽しんいでました。
遊んだ後はゆり組にお着替えを手伝ってもらい、安心して頼っている姿をほほえましく思いました。